

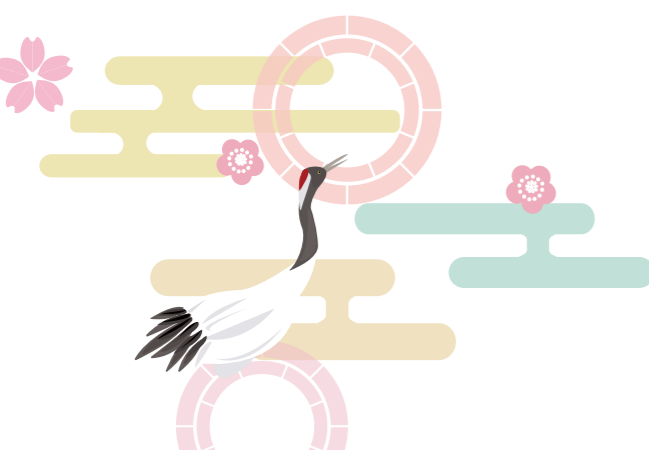
「幸福を実感して暮らせるまちづくり」に向けて

小清水町議会議長 坂田 秀 昭



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた穏やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町議会の活動に對しまして、深いご理解と多大なお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、町民の安心安全と市街地の賑わい創出空間を兼ね備えた防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」が供用開始され、オープニングセレモニーの会場に約千人もの来場者で溢れた日の光景が蘇ります。一方で、アフターコロナに向け回復基調を辿るかと期待された経済の動向は、世界情勢が一層不安定化を増し、原油価格の高騰をはじめとするありとあらゆる物価の上昇を招き、町民の皆様の生活に大きな影響を及ぼす大変厳しい状況が続いております。本町基幹産業の農業におきましては、春先の低温や霜による生育の遅れとその後の記録的な猛暑による影

響が懸念されましたが、高温とともに雨には比較的恵まれ、総体的には平年作に近いところでの出来秋を迎えられました。農業者の皆様のためまめご努力と関係機関のご指導に對し、改めて敬意を表させていただきます。商工業におきましては、長期に渡るコロナ禍の影響からは脱したものの、原材料費などの生産コスト上昇の影響が重くのしかかり、依然として飲食・観光・製造業を中心に大変厳しい状況におかれております。本年秋には、市街地の新たなシンボルとなった防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」に隣接して、ドラッグストアのオープンが予定されており、「ワタシノ」を拠点として、更に町内経済の活性化に結びつく相乗効果となることへの期待を寄せております。また、本年秋の開設に向けて、次代を担う子どもたちを育む「認定こども園」の建設工事が進められておりますが、町議云々いたしました



子どもから高齢者まで町民誰もが幸福を実感して暮らせるまちづくりに向けて、これまで以上にしっかりと議論を重ね、町民の皆様の声を限りなく町政に反映させ、将来を見据えたまちづくりに尽くしてまいりますので、今後ともご理解とご助言のほどよろしくお願ひ申し上げます。新しい年が、皆様にとって輝かしい幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

笑顔で安心して暮らせるまちづくりをめざし

小清水町長 久保 弘 志



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい令和6年の新春を健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。昨年は、長引く物価高騰をはじめ、これまで感じたことのない猛暑など、町民の皆様における生活への影響は大きく、大変ご苦労の多い年であったと感じています。このようなか、農業者の皆様のご努力と関係機関のご指導・ご支援により、異常ともいえる気象状況ではありませんが、無事に収穫作業を終えることができたとお聞きし、安堵しております。さて、農業を取り巻く環境は、先行きの見えない物価高騰が続く中、急速に変革する社会・経済の動きや脱炭素社会における新たな農業政策に對応していかなければなりません。本年は、農業者の皆様が築き上げてきた農業基盤を持続的かつ発展的に後世につなげるため、関係機関との連携を密にし、安心して農業経営ができるよう一層取り組んでまいります。商工観光におきましても、物価高騰

による影響は非常に大きい年であったものと認識しております。昨年5月に開業いたしました「防災拠点型複合庁舎（ワタシノ）」は、「町民が集うコミュニティ」の形成拠点として市街地の新たな賑わいと災害時の一時避難場所としての機能を備えており、本年には駐車場などの外構整備を行い、これらを活かしたさらなる町の魅力発信により、商工・観光業の回復発展とともに地域経済全体が活性化していくため、商工観光事業者の皆様と連携しながら、町民の皆様が笑顔あふれるまちとなるよう努力してまいります。教育につきましては、未来を担う子どもたちが「ふるさと小清水町」への愛を育めるよう教育環境を整えるとともに、本年秋開業予定の「認定こども園」を中心とした事業を推進するなど、より一層、安心して子育てができる保育環境の充実に取り組めます。また、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らすことができる安全なまちづくりのため、日常時と非常時の

隔たりをなくす「フェースフリー」の考えのもと、地域コミュニティの活性化に向けて、自治会や自主防災組織とともに地域住民同士が支え合う「地域の絆」の再生に取り組んでまいります。本年は、時代に即したデジタル化への対応や長引く物価高騰対策に加え、脱炭素化対策など、これまで以上に地域経済の活性化やカーボンニュートラルへの対策が求められる年になると考えております。地方を取り巻く情勢は依然厳しく課題も山積しておりますが、先人の築き上げてきたこれまでの歴史を胸に、「住み続けられるまち・住みたいまち」づくりのために、町民皆様の声に耳を傾け、そして「未来へつづくまち」を目指し町政に取り組んでまいりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。